

大正十三年（一九二四）製作の「環状織機」。現存する唯一の完成機台である

織物を織る要素には、①たて糸を上下に分けて開く「開口」、②開いたたて糸の間に杼（ひ）でよこ糸を入れる「よこ入れ」、③よこ糸を箒（おさ）で打ちこむ「よこ打ち」の三つがあります。普通の有杼織機では一般的に「よこ入れ」や「よこ打ち」は間欠・往復運動であるのに対し、たて糸を円筒状に配列した『環状織機』は、連続的な杼の円運動と同時に上下する箒の揺動運動によりよこ糸が螺旋（らせん）状に織り込まれる機構を持ち、超広幅の布を織ることができる独創的な織機です。

織機の発明で知られる豊田佐吉は、明治39年（1906）に動力の損失低減や生産性向上を目指した『環状織機』を考案。大正13年（1924）に世界一と評価されたG型自動織機を完成させると、次に『環状織機』の実用化に着手して製作したのが展示の機台です。

産業技術記念館では、佐吉の「研究と創造の精神」と、独創的な「モノづくり」にかけた夢を象徴するシンボルとして、『環状織機』をエントランスロビーに展示しています。

（産業技術記念館）

目 次

●愛知県博物館協会平成9年度総会	2
●東海地区博物館連絡協議会平成9年度総会	4
●愛知県博物館協会等職員研修会・加盟館改装のご案内	5
●新規加盟館の紹介	6

愛知県博物館協会

平成9年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成9年度総会が、5月27日(火)に名古屋市千種区の「ルプラ王山」で、参加58館75名出席のもと、盛大に開催されました。以下その概要をご報告いたします。

1. 会長挨拶

愛知県陶磁資料館館長 中村 眞氏
来賓挨拶

愛知県教育委員会
文化財課 課長 永谷敏一氏
来賓 愛知県教育委員会
文化財課 主事 本田正美氏

2. 表彰

浅田員由氏……………功労賞該当
愛知県陶磁資料館主任学芸員
今井幸七氏……………功労賞該当
勲日本モンキーセンター飼育第一担当主任
岡地幸雄氏……………功労賞該当
熱田神宮宝物館前館長
清水 武氏……………功労賞該当
名古屋市博物館前館長
中田綾子氏……………功労賞該当
岡崎市郷土館業務員副主任
服部俊二氏……………功労賞該当
名古屋市科学館技師
福田清彦氏……………感謝状該当
愛知県陶磁資料館前館長

3. 新加盟館の紹介並びに挨拶

・ルイス・C. ティファニー美術館
・史料館 八丁味噌の郷
・産業技術記念館

4. 議事

議長 中村 眞氏 (愛知県博物館協会会長)
①平成8年度事業報告及び決算報告について

1. 研修会の実施

(1)愛知県博物館協会等職員研修会
期日 平成8年9月5日～6日
会場 一宮勤労福祉会館
参加 81名

(2)部門別研修会

ア 自然科学部門
期日 平成9年2月27日

会場 鳳来寺山自然科学博物館

参加 22名

イ 歴史民俗部門

期日 平成9年2月25日

会場 武豊町中央公民館
歴史民俗資料館

参加 40名

ウ 美術部門

期日 平成9年2月20日

会場 昭和美術館

参加 39名

2. 東海地区博物館連絡協議会

平成8年度総会への参加

期日 平成8年6月20日～21日

会場 岐阜県美術館

参加 118名 (内愛知県 25名)

3. 第21回東海三県博物館協会

交流研修会への参加

期日 平成8年10月3日～4日

会場 労働者研修センター

参加 67名 (内愛知県 40名)

4. 表彰の実施

功労賞6名、感謝状1名 (氏名前出)

5. 印刷物の編集・発行

(1)協会報「愛知の博物館」 700部×2回
(2)「おでかけガイド」 30,000部×2回
(3)「東西南北」 400部×1回

6. 会議等

(1)総会 1回
(2)理事会 2回
(3)実行委員会 9回

7. 平成8年度加盟等

(1)新加盟 岡崎市美術博物館
ルイス・C. ティファニー美術館
史料館 八丁味噌の郷
(2)退会 半田空の科学館

8. 平成8年度決算報告

愛知県美術館、昭和美術館の監査報告書にもとづき、昭和美術館より監査結果の報告がなされ、事務局説明の後審議、承認された。

②平成9年度事業計画及び予算案について

1. 事業

(1)愛知県博物館協会等職員研修会
愛知県教育委員会と共催で博物館関係

施設等に勤務する職員を対象。

期日 平成9年9月11日～12日

会場 サンピア岡崎

(2)部門別研修会

自然科学・歴史民俗・美術各部門

期日、会場は未定(平成10年2月頃)

(3)東海地区博物館連絡協議会

平成9年度総会への参加

期日 平成9年6月19日～20日

会場 サンピア浜松

(4)第22回東海三県博物館協会

交流研修会への参加

期日 平成9年10月2日～3日

会場 長良川ハイツ

(5)表彰

協会加盟館(園)に勤務し、特にその発展に寄与した者を表彰する。

(6)印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」 2回発行

・「おでかけガイド」秋・春 2回発行

・「東西南北」8月・12月 2回発行

2. 会議

(1)総会 1回

(2)理事会 2回

(3)実行委員会 12回

3. 平成9年度加盟等

(1)新加盟 産業技術記念館

4. 平成9年度予算案

事業計画案に基づく予算案につき事務局より説明の後、審議・承認された。

※ 総会終了後、愛知県万博誘致対策局の中井伸洋氏を迎え「愛知万博の文化的側面」のテーマで講演会を実施、引き続き懇親会が開かれました。

5. 役員の変替について

平成9年度は、会長・副会長をはじめ5名の理事、4名の実行委員の交替がありました。尚、新役員は次の方々です。今後ともよろしくお願いたします。

愛知県博物館協会役員
(平成9年度 館名50音順)

役職名	館(園)名	代表者名	備考
理事	愛知県陶磁資料館	館長 中村 真	会長 新
〃	熱田神宮宝物館	館長 小串 和夫	副会長 新
〃	安城市歴史博物館	館長 天野 鴨保	新
〃	一宮市博物館	館長 尾関 良英	新
〃	岡崎市美術博物館	館長 中根 鎮夫	新
〃	でんきの科学館	館長 内山 俊一	新
〃	徳川博物館	館長 徳川 義宣	
〃	常滑市民俗資料館	館長 山本 博光	
〃	豊橋市美術博物館	館長 河合 康道	新
〃	名古屋市科学館	館長 樋口 敬二	
〃	名古屋市博物館	館長 光森 進助	新
〃	日本モンキーセンター	館長 小寺 重孝	
〃	博物館 明治村	館長 村松貞次郎	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山 良哲	
〃	美和町歴史民俗資料館	館長 横井 実	
監事	愛知県美術館	館長 浅野 徹	
〃	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	

愛知県博物館協会実行委員
(平成9年度 館名50音順)

役職名	館(園)名	委員氏名	備考
会長館	愛知県陶磁資料館	佐藤 一 信	新
副会長館	熱田神宮宝物館	千秋 季 頼	
理事館	安城市歴史博物館	近藤 義 行	新
〃	一宮市博物館	久保 貞 子	
〃	岡崎市美術博物館	荒井 信 貴	新
〃	でんきの科学館	新美 治 男	新
〃	徳川博物館	小池 富 雄	
〃	常滑市民俗資料館	中野 晴 久	
〃	豊橋市美術博物館	高橋 洋 充	
〃	名古屋市科学館	佐伯 平 二	
〃	名古屋市博物館	犬塚 康 博	新
〃	日本モンキーセンター	水野 礼 子	
〃	博物館 明治村	中野 裕 子	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	加藤 貞 亨	
〃	美和町歴史民俗資料館	鎌倉 崇 志	
監事館	愛知県美術館	木本 文 平	
〃	昭和美術館	海野 嘉 代	

愛知県博物館協会事務局
(平成9年度)

愛知県博物館協会事務局長	長谷川 和 彦	愛知県陶磁資料館 副館長
愛知県博物館協会事務局	峰 一 臣	〃 庶務課長
〃	村瀬 寛	〃 庶務課長補佐
〃	新川 代 二	〃 庶務課主査

平成9年度東海地区博物館連絡協議会・

日本博物館協会東海支部総会及び見学会報告について

熱田神宮宝物館 宝物・企画係長 中崎正人

平成9年6月19日～20日の両日、平成9年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会及び見学会が、静岡県浜松市のサンピア浜松を会場に開催された。参加者は、愛知・山梨・神奈川・岐阜・静岡の加盟館より64館94名を数え、その概要は次の通りであった。

初日午後2時より総会が開催され、はじめに松浦岡男東海地区博物館連絡協議会会長より、総会開催にあたり各館より多くの会員の参集を得られたことに謝意を述べられ、接近中の台風7号による日程の遂行に懸念しながらも、全日程が滞りなく執り行われることを望む旨の挨拶があった。

また来賓の五十嵐耕一日本博物館協会専務理事より、日本博物館協会への日頃の尽力に対し感謝の意を表すとともに、加盟館数の現況について報告があり、その年間入館者が各館において減少傾向にあることについて触れられた。これについては、その原因を経済不況、観光客の海外旅行化傾向により、国内の人口移動の減少、リクレーシオンの多様化のなか、増加したテーマパークに娯楽をもとめる傾向によるものなどとの分析結果を述べられた上で、その対応として、昭和40年代から50年代にかけて設立された各館がリニューアルの時期に入っているが、それに併せてマルチメディアの活用を考慮してゆく必要がある旨提案された。

また、博物館相互の連携と学芸員の資質向上を図ることを要するとしているが、資質とは学識的向上より、寧ろ博物館を総合的に企画・運営できる能力をさし、研修の充実を目指している。

さらに阪神大震災の教訓をもとに、各館の地質・建物構造・建築年数・防災対策について調査を実施しているとの報告があった。

続いて、飯田英夫静岡県教育委員会事務局参事兼文化課長より、ご本人の文化財との出会いを語る中、文化財のもつ魅力が本物の持つ威力であり、そのすばらしさが人間を変えたとの視点に立ち、文化財保存・活用の事業については、①いかにし

て、先人の文化財を保ち伝えられるか、②文化財を通して現代の人に文化の向上を示せるか、そして③将来の人への文化行政のあり方などを考えての事業推進を期待する旨が述べられた。

そして、河合九平浜松市教育長は、浜松市の産業都市としての歴史と文化施設を紹介し、その中の楽器産業から発展しての将来構想を披露された。

次に、表彰式が執り行われ、静岡県博物館協会役員として、博物館美術館におけるわかりやすい解説の作成に尽力した功績に対して井出孝氏（井出コレクション代表）が表彰された。

次に、松浦会長が議長をつとめ議事に入り、平成8年度事業報告及び決算報告・平成9年度事業計画及び予算案について事務局より説明、いづれも原案通り了承された。

また、平成10年度開催県は愛知県と決定、中村眞愛知県博物館協会会長より、引き受けの旨挨拶があった。

総会後、講師に医学博士平出光氏を迎え、「寿命と芸術—博物館の果たす役割—」と題する講演会が催された。厚生省職員、全国各地の保健所長、開業医という経歴の持ち主である平出氏は、諸外国に比べ急速に襲った日本の高齢化現象が、やがて低経済成長化へと日本を導くと指摘し、また高齢者と老齢者の使い分けを語る中で、高齢者とは世界保険機構でいう65才以上を区分する定義でしかなく、社会に果たせる役割は過去とは異なっており、活躍が期される旨を説かれた。

高齢化による余暇を充実させたいとする人々の要望は既に見られる現象であり、その点において博物館の果たすべき役割を改めて検討すべき課題が存することを再認識させる講演会となった。

総会終了後は、懇親会の席が設けられ、各地より集った各館職員が意見交換等の場として大いに活用し、交流を深めた。

尚、翌朝台風7号接近による警報発令を受け、翌日の日程に心を残しつつ、直ちに帰路についた。

愛知県博物館協会等職員研修会 へのご案内

平成9年9月11日(木)～12日(金)の両日にかけて、愛知県教育委員会・愛知県博物館協会の主催で「平成9年度愛知県博物館協会等職員研修会」を開催いたします。

たくさんの方々のご参加をお願いします。

概 要

1. 主催 愛知県教育委員会・愛知県博物館協会
2. 期日 平成9年9月11日(木)～12日(金)
3. 会場 サンピア岡崎
(岡崎市渡町字大柵1番地)

4. 日程 9月11日
- 13:00～ 受付
 - 13:30～ 開会あいさつ
 - 13:40～ 研修会第1部
事例発表「展示と展示手法」
・展示物本意の展示
・自然科学系の展示
・演出性重視の展示
・展示と個性
質疑応答
 - 18:00～ 研修会第2部
情報交換
- 9月12日
- 9:00～ サンピア岡崎 出発
 - 9:30～ 八丁味噌資料館
 - 11:00～ 岡崎市美術博物館
 - 12:30～ 昼食(レストラン セレーノ)
 - 14:00～ 解散(名鉄東岡崎駅)

◆ ご案内 ◆

名古屋城天守閣全面改装

名古屋城は、平成9年7月に天守閣展示室3階から5階を全面改装しました。

今までの見るだけの展示から、実物や精巧な模型をふんだんに使って名古屋城の歴史をわかりやすく紹介し楽しく学べる展示になりました。

江戸時代の名古屋の城下町の町並みと堀川の雰囲気、音と光の演出により一日の変化とともに味わえます。

また、藩主の食事や生活を再現するとともに昭和20年に焼失した本丸御殿をコンピュータグラフィックス映像で紹介しています。

その他、実物大の金鯱模型と記念撮影ができるコーナーや石垣の石引きを体験できるコーナーもあります。

所在地 〒460

名古屋市中区本丸1番1号

電話 (052) 231-1700

交通 地下鉄名城線「市役所」駅下車

7番出口より徒歩5分

お車でお越しの場合有料駐車場があります。



開館 9:00～16:30

休場日 12月29日～31日、1月1日

入場料 大人500円 中学生以下100円
(30人以上団体割引あり)

新規加盟館紹介

平成9年度に当協会へ新規加盟されました館の概要を紹介いたします。

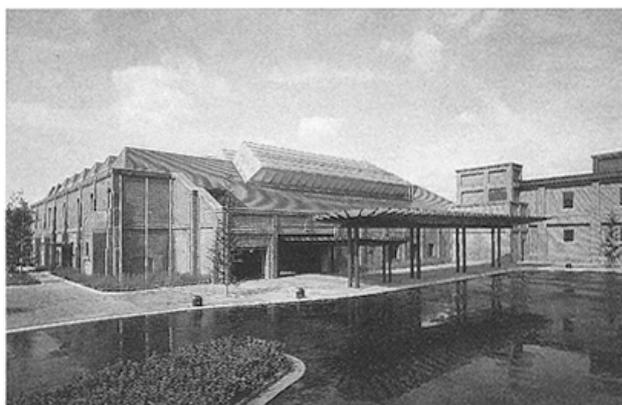
産業技術記念館

概要 当記念館は「モノづくり」の大切さや「研究と創造の精神」の素晴らしさを次代を担う若い方々にお伝えしようとトヨタグループ13社の共同事業で設立しました。グループ発祥の地に残されていた大正時代の建物を貴重な産業遺産として生かしながら建設した館内では、グループの事業の柱である繊維機械と自動車を中心に、素材から製品に至る工程を紹介しております。1万㎡を越す展示場には、実物本位を基本に約三千点を展示。モノのつくり方がよくわかるよう、機械を動かしてご覧いただけるのが最大の特徴です。

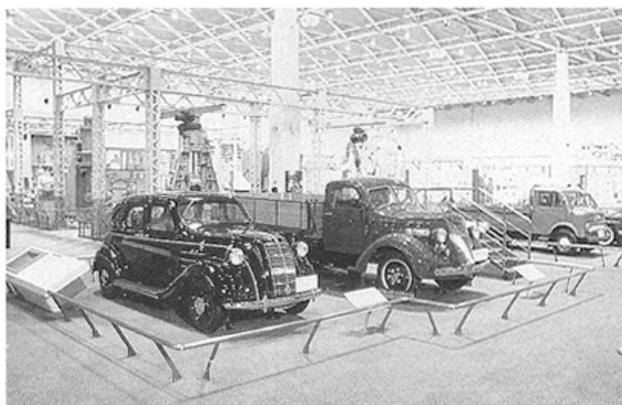
開館 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌日)
年末年始

観覧料 大人 (大学生含む) 500円
 中高生 300円
 小学生 200円
 ※団体割引あり 30名様以上1割引
 100名様以上2割引
 ※学校行事で来館の学生は半額
 引率の先生は無料



産業技術記念館 全景



自動車館

所在地 〒451
 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

電話 (052) 551-6115

交通 名鉄「栄生(さこう)駅」下車徒歩3分
 地下鉄東山線「亀島駅」下車徒歩10分
 無料駐車場 乗用車 300台
 大型バス 10台



「愛知の博物館」 No.66

発行日 平成9年8月10日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489 愛知県瀬戸市南山口町234番地

TEL (0561) 84-7474

FAX (0561) 84-4932